



■トキふれあいプラザで生まれ た子供の性別が分かりました

昨年生まれたトキ2羽の性別は、体が大きくて少しワガママな甘えん坊の「いなほ」がオス、やさしくて自立心のあるしつかり者の「みかん」がメスでした。お父さんの「ゆうた」、お母さんの「すみれ」と一緒に家族



左から「いなほ」、「みかん」
「すみれ」、「ゆうた」

■これからトキは繁殖の季節に 入ります

トキは冬になると頭から背中にかけての羽根の色が徐々に黒く変わり、繁殖期に入ります。これから3月ごろまでの間にペアを作り、巣作り、産卵、子育てと忙しくなっていくまま

す。
昨年は自然界で過去最高となる39羽のひなの巣立ちが確認されました。今年も多くのひなが誕生しますよう

に静かに温かく見守ってください。

*トキの情報をお寄せください

トキは繁殖期に入ると群れから離れてペアで行動することが多くなります。行動範囲も群れの時と変わって、今までと違う場所で行動するようになることがあります。

「トキが木の枝や草を運んでいる」「林によく出入りしている」などのトキの行動を見かけた際にはトキ交流会館へお気軽に情報をお寄せください。

フリーダイヤル

☎0120-980-551

■ご寄付ありがとうございました

トキ環境整備基金に

(有)セブンステム様(佐渡市)、佐渡農業協同組合様(佐渡市)、本間久様(東京都小金井市)からご寄付をいただきました。

いただいたご芳志は、トキの野生復帰や生息環境の整備に使わせていただきます。

◆市役所農林水産課農業政策室

トキ政策係(トキ交流会館内)

☎24-6040

『ジオパークの視点から見た新穂銀山』

佐渡の四大鉱山は、相川、鶴子、西三川、そして新穂銀山です。新穂銀山の遺跡は、新穂ダムと大野川ダムに挟まれた尾根に、露天堀り跡や間歩と呼ばれる坑道跡として残されています。銀の鉱石は、赤土の粘土層に含まれる鉱脈(石英脈)を採掘して取り出していました。

さて、およそ2,000万年前、佐渡は、島ではなく、アジア大陸の一部でした。大陸が裂け、その割れ目からは溶岩や火山灰などが大量に噴き出していました。金銀鉱床は、このような激しい火山活動の中で形成されました。地下にあった水はマグマで熱せられ、まわりの金や銀、石英などを溶かし込みました。その後、この高温の水が地下の割れ目に沿って上昇していく中で温度が低下し、溶けていた物質が固まってできたものが白色の石英脈で、中には金や銀、鉄などの金属が含まれています。まさしくこの過程は小中学校の理科で学習する「ミョウバンの再結晶の実験」と同じ原理です。

大野川の上流を歩くと、この石英脈でできた岩石がたくさん見つけられます。また、熱い水は周りの岩石に

も影響を及ぼしました。その岩石は緑色をしていて、割ってみるとキラキラと金色に光る鉄(黄鉄鉱)が含まれています。このような鉱脈の存在を示す証拠が大野川に残されています。また、川の近くには新穂銀山を監視した北方山城跡や参道に樹齢数百年の杉が並ぶ清水寺、舞台の下の池にはクロサンショウウオが生息しています。さらに近くの民家には、佐渡有数の大銀杏があります。大地、生物そして歴史が一体化した風景が、新穂銀山には広がっているのです。

ぜひ、ジオパークの視点を持って散策してみませんか。



清水寺下の大銀杏

◆市教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

(畑野行政サービスセンター内)

☎66-4160